

平成29年度

補助金審査委員会審査意見に対する対処方針

うるま市

平成29年度 補助金審査委員会審査意見に対する対処方針

ページ	名称	担当課	総合評価
P1	うるま市商工会補助金	商工観光課	C
P2	うるま市観光物産協会補助金	商工観光課	C
P3	青少年健全育成協議会補助金	青少年センター	B
P4	うるま市社会福祉協議会運営補助金	福祉総務課	C
P5	民生委員児童委員協議会補助金	福祉総務課	C
P6	学力向上支援事業補助金	指導課	B
P7	学力向上対策委員会補助金	指導課	B
P8	各種団体育成費補助金	生涯スポーツ課	C
P9	子ども会育成連絡協議会補助金	生涯学習振興課	D
P10	悪臭緩和剤等購入補助金	農政課	C

うるま市商工会補助金（商工観光課）

「うるま市商工会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

担当課は活動指標の内容を把握できていない。商工会の事業内容等もしっかりと掌握しておくべきである。

会員数の増加が見られる中で、資金造成や会費の増額など、商工会自身で自主財源確保の努力を行い、補助金を減らしていくべきではないか。

いつまでも補助金に頼るのではなく終期設定を行い、長期的な視点の下、例えばうるま市中小企業基本条例の趣旨に沿って行政と商工会が連携を図る等、実効性のある取り組みをしていただきたい。

対処方針

資金造成や会費の増額など、商工会自ら自主財源確保に向けて努力するよう助言・指導を行っていくとともに、現在取り組んでいる創業支援事業計画での行政との連携のほか、中小企業振興基本条例の趣旨に沿って、長期的な視点で実効性のある取り組みをしていきたい。

また、商工会の行う経営相談や経営指導を強化するためにも、与勝本所と石川支所に分散している状況の改善に努め、より効果的な経営指導ができる環境づくりを検討していきたいと考えている。

うるま市観光物産協会補助金（商工観光課）

「うるま市観光物産協会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

うるま市の素通り観光の現状を変えていくために、観光資源を生かすことや宿泊業者と連携を図る等、観光物産協会がやるべきことはたくさんある。また、地域・自治会とより連携を図り、物産に目を向けることも必要ではないか。

『うるま感動体験』のような新しい商品展開は評価したい。今後は SNS 等を使った発信力を強化していくことが重要であると考えている。

目標指標については、観光物産協会の会員数ではなく、『うるま感動体験』の参加者数のような数値が達成度を測りやすいと思われる。指標の変更を検討していただきたい。

第2次うるま市観光振興ビジョンを観光物産協会と共有化し、うるま市観光の戦略作りについてしっかりと連携していただきたい。

対処方針

これまで観光物産協会が取り組んできた事業を検証すると共に地域資源を活用するため開発をおこなった「うるま感動体験」の商品を積極的に PR し、滞在型観光となれるよう当課も観光物産協会と連携を図って行きたいと考えております。

また、第2次うるま市観光振興ビジョンの目標の達成に向けて、うるま市観光物産協会との共有を図ってまいります。

青少年健全育成協議会補助金（青少年センター）

「青少年健全育成協議会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

補助金交付要綱が制定されておらず、基準が曖昧なまま補助金が交付されている。要綱を制定し、早急に改善を行っていただきたい。

協議会が行っている『ありがとうの手紙』や『少年の主張大会』等の取り組みに関しては、青少年の健全育成に資するものであり高く評価したい。

取り組みが全くなされていない学校に対する参加の促しや、発表会をより多くの市民が聞けるよう、会場設定の工夫もしていただきたい。

対処方針

補助金交付要綱の制定については、市の他団体や他市町村の補助金交付要綱等を参考にし、制定していきたい。

平成29年度の「ありがとうの手紙」作文コンクールは、市内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から3,600名の作品が参加され、充実した取り組みとなっている。

一部、取り組みがなされていない学校について、指導課の協力を得ながら、校長会等において毎年発行している同作品集を活用し、この取り組みのすばらしさをよりアピールし、引き続き参加の促しをしていく。

「少年の主張大会」の会場設定は、今まで学校の登校日に開催、かつ津堅中学校からの大会終了後の帰りの船便を考慮し、きむたかホールを会場としていた。

次年度から大会の開催日を夏休み（7月中）へ変更し、会場も多くの生徒や市民が拝聴可能にするため市民芸術劇場やゆらてくなど市の中心での開催も検討していく。その際には開催時刻を現在時刻から前倒して、津堅中学校への帰りの船便利用も考慮する。

うるま市社会福祉協議会運営補助金（福祉総務課）

「うるま市社会福祉協議会運営補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

毎年 C 評価が出ているが、担当課の指導で人件費削減を行う等、前年度からの改善が見られ、評価できる。引き続きコスト削減を進めて頂きたい。

担当課の評価においても、社会福祉協議会自身で内部事務・実施事業の分析がされておらず、適正な業務の見直しに繋がっていない。これは事業を実施する上で根本的な問題である。事務の見直し・効率化を行い、外部に対してきちんと改善結果を説明できるよう、担当課は社会福祉協議会へ引き続き指導していただきたい。

対処方針

補助金審査会からご指摘のありますとおり、社会福祉協議会の事務事業評価及び分析が十分になされていないのが現状にありますので、事務事業の進め方や事務の振り分けなど、事務量の適正化の精査分析を行うよう働きかけ、事務事業の効率化及び業務の見直しにより適正なコスト削減に向けて精査してまいります。

このほか、自主財源の確保としても個人会員及び団体会員の加入促進に向けた取り組みも一層強化するよう引き続き指導してまいります。

なお、当該補助金については、地域福祉に資するための補助金であることを再認識させ、うるま市総合計画で位置づけた「福祉の中核を担う団体」ということから、補助金要望においては行政との事前調整を十分行い、地域福祉に資する内容を確認のうえ、社会福祉法人として適正な運営のもと要望を行うよう指導し、審査会からの意見のとおり、外部に対して説明が果たせるよう改善に向け指導してまいります。

民生委員児童委員協議会補助金（福祉総務課）

「民生委員児童委員協議会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

民生委員・児童委員の重要性、充足率の課題解消のための活動等、協議会の果たしている役割については十分理解できる。

しかし、交付根拠となる要綱がないため、補助金交付の妥当性の検証が行えない状態である。

担当課は繰越金の取り扱いを含め、市として協議会との関わり方を明確化し、早急に交付要綱を整備していただきたい。

対処方針

補助金審査会の意見のとおり、民生委員・児童委員が果たす役割はとても重要とされ、欠員となっている地区についても現人員にて現在対応している状況にあり、またボランティアといえども係る活動費用負担は大きいものとなっているのが現状です。

うるま市民生委員児童委員協議会としまして、欠員の課題の解消に努めながら、また、個々の活動についても一層市民に寄り添った支援を図っていただくべく、市としては、活動費の一部ではあるものの安定した活動に資するために補助金要綱を制定します。

このことから、より迅速な活動と継続して安定した地域福祉が期待されるため、補助金の適正な活用につきましては、今後とも指導してまいります。

学力向上支援事業補助金（指導課）

「学力向上支援事業補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

当該補助金は沖縄県地域振興協会助成金を活用した事業ということで、B 評価が妥当であると判断した。

活動指標として学力指導員の配置数を設定しているが、助成対象学校内の配置の仕方で指導員配置数が大きく変わるため、活動結果の示し方として疑問がある。また、目標達成度に関しては、毎年度市内から3校を選定し補助していることから達成度の数値設定が困難である、とのことであったが、複数の目標を設定し複合的に表現する等、工夫の余地があると考えます。

活動実績・達成度を正しく測ることができる指標を検討していただきたい。

対処方針

本事業においては主に以下のような活動で取り組まれているため、それぞれの活動内容に沿った実績、達成度を検討します。

具体例)

- ・学習指導員を活用した際には、指導日数及び補習等に参加した子どもの数。
- ・検定受検料半額補助については、受検者数の比較。
- ・学事奨励費については、家庭学習帳の配布数、学校目標冊数に対する達成数の比較。

など、個別の指標を設定することにより、実績及び達成度を示すことができるよう改善していきます。

学力向上対策委員会補助金（指導課）

「学力向上対策委員会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「B」：現状のまま継続

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

小中学校の学力は向上しており、小学校においては、全国平均に近づき、一部教科では全国平均を上回る等、成果が出ていることは高く評価したい。しかし、中学校の学力は依然として全国平均と開きがあり課題となっている。中学生の学力向上のためには、学校での取り組みだけでなく、生活状況の問題点等を市としてどう関わっていくか、という視点が必要ではないか。

活動を示す指標に関して、教職員の授業力向上の為に開催しているスキルアップ学習会の開催数も設定したほうが、より具体的に活動実態を把握できると考える。

小学校中学校ともに成果が上がって来ているので、現在の取り組みを継続していただきたい。

対処方針

中学校の学力向上については、引き続き授業改善を図っていくことが課題であると考えております。市実践 9 項目を柱としたわかる授業を工夫するとともに、関わり合い、認め合いを大切にしながら子どもたちの学ぶ意欲を高めていきたいと考えております。

あわせて、生活状況の問題点についても、不登校の問題なども関係しており、教育研究所や他機関との連携を図りながら、各学校の課題解決に向けて支援していきます。

活動指標については、本事業での様々な取組みをより明確に示すことが出来るよう改善していきます。

各種団体育成費補助金（生涯スポーツ課）

「各種団体育成費補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

担当課が現在補助を行っている団体の選定経緯の把握が行われていない。他に補助を必要としている団体が無いか、というニーズの把握もない。既存団体のみに補助するのではなく、広く周知し補助を必要としている団体の掘り起こしが必要であると考えます。

市として主体的に社会教育団体を育成していくという姿勢で、補助対象団体（既存団体が補助に至った過去の経緯を含め）の情報をしっかりと把握し、効率的な補助金交付に努めていただきたい。

次年度以降、しっかりと改善されているか、委員会として注視していきたい。

対処方針

「各種団体育成費補助金」の助成については、市補助金等交付規則第 3 条にて各種団体から補助金交付申請書を受け、B & G うるま市勝連海洋クラブ・少年野球うるまブロック・うるま市バレーボール協会・うるま市サッカー協会・うるま市レクリエーション協会の 5 団体へ合併当初から、1 市 1 町から引き継ぎされ交付されているのが現状であります。

補助金審査委員会からの意見を踏まえ、今後は、既存団体のみに補助するのではなく補助金の適正化に向けて、関係部署と調整を行い、うるま市各種競技団体の育成、競技力の向上を目的に補助金を必要としている団体等に広報紙等を活用し広く周知し団体の掘り起こしを行います。

市として社会体育団体を育成していく為、補助対象団体と積極的にコミュニケーションを図り団体の把握に努めます。

新たな団体から補助金申請があった場合、関係部署と調整を行い、対応していきたいと思っております。

子ども会育成連絡協議会補助金（生涯学習振興課）

「子ども会育成連絡協議会補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「D」：縮小・廃止を前提とした見直し（ただし縮小廃止を前提とした評価ではなく、根本的見直しを求めるという評価）

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

子ども会が担ってきた役割が時代とともに変化しつつあるが、学校・地域との連携を含め、現代にあった子ども会の形を模索している状況だと考える。

しかしながら 45 団体中 9 団体の加盟に留まっている現状から、未加入の子ども会が必要としていることを把握した上で、事業内容の見直しを検討する必要があるのではないか。

子ども会の重要性・可能性を考え、補助金の縮小廃止を前提とした評価ではなく、学校・地域とより連携を図り、協議会の事業内容を含めて根本的な見直しを行っていただきたい、という意味の D 評価とした。

担当課は問題意識を持って改善に取り組んでいる。現在加盟していない子ども会が何を必要としているかを把握した上で、課題解決に向けて引き続き努力していただきたい。

対処方針

個人主義が進み、人間関係の希薄化が進む現代社会において、組織として社会教育を推進し、地域還元を活動の主とする社会教育団体の現状は厳しいものがあります。各字子ども会についても減少傾向にあるなか、市の連絡協議会への加盟に対する認識も薄くなっています。しかし活動が活発な地域をさらに他地域に紹介していくなど、市の連絡協議会の担える役割は小さくありません。今一度、団体自身が存在する意義や目的について再認識し、現代社会にあった活動について検討する必要性が出ています。

現在、社会教育委員により社会教育団体が抱える課題と今後のあり方について、団体からの聞き取り調査や、大学の有識者等を招いての研究を行い、社会教育団体としての今後のあり方について取りまとめを行う予定であり、うるま市子ども会の活動内容見直しにアドバイスをすると共に、地域に対し団体の意義について理解を求めて、加盟を推進していきます。

悪臭緩和剤等購入補助金（農政課）

「悪臭緩和剤等購入補助金」の評価まとめ

◆総合評価

「C」：効率化・コスト削減の方向で見直し

・具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

畜産業の悪臭緩和に補助金が必要であることは理解できる。

しかし、緩和剤使用前後の効果検証が十分に行われていない。臭気を数値化し、客観的に効果が分かるようにするべきである。

また地域毎（具志川・石川・与勝）の緩和剤使用状況（率）や効果についても検証し、効率的な運用を行っていただきたい。

対処方針

ご指摘のありましたとおり、緩和剤使用前後の効果について、客観的に示せる検証が不十分でありました。今後、臭気を数値化するなどして、事業効果を客観的に示せるよう努めて参りたいと思います。

また、うるま市全域にて効率的な運用を図れるよう、畜産農家への周知徹底を図って参りたいと思います。